

みんなの広場

毎日新聞 平成31年(2019年)3月22日(金)

夢だった仕事のスタート台に

大学生 平尾 優衣22 (奈良県大和郡山市)

私は4月から社会人になる。昨年11月に内定をいただき、つい最近、配属先も決まった。高校生の時になりたいと思った保育士として働くことになる。

初めは、こんな私に本当に保育士が務まるのだろうか、学生ではなく社会人としての自覚が持てるのだろうか、と不安がたくさんあった。しかし、研修が近づくにつれ、その不安は楽しみに変わってきている。大好きな子どもたちと関わることのできる道を選んだこ

※無断転載不可